

農政連だより

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

2月号 No.218

発行／熊本県農業者政治連盟

JA熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3

電話 096-328-1284

編集責任者 木村 幸孝

発行／毎月1回 15日発行

平成9年7月4日第三種郵便物許可



高橋稲荷神社の初午大祭（写真提供：熊本県）

日本五大稲荷のひとつに数えられ、毎年2月、初午の日に行われる初午大祭には、商売繁盛や五穀豊穰を願う大勢の参拝者が訪れます。

主な内容

- ・第6回農政連委員会・酪農家決起大会
水田経営所得安定対策
- ・農政連総支部だより：球磨総支部
- ・ガンバッテいます：友枝和也さん 龍みつ子さん
- ・各連合会からのお知らせ

せせらぎ

一月末、千葉、兵庫両県の三家族十人が、下痢や嘔吐などの中毒症状を訴え入院していることが報道された。このうちの五歳の女の子らは一時意識不明になるなど重態となり、全国を震撼させた。

食中毒の原因は、日本たばこ産業（JTC）子会社「ジェイティブーズ」の輸入した中国産冷凍餃子を食べたためだった。

問題の「冷凍餃子」を製造したのは、中国河北省の「天洋食品」であり、この中から有機リン系農薬成分「メタミドホス」が検出された。これらは中国でも使用禁止となっているが、今でも殺虫剤として広く使われているという。我国では手に入れることは難しいとのことだ。

更に二月初めに同じ工場で作られた冷凍餃子から、別の農薬成分「ジクロロポス」が検出された。これらの毒物の混入は、中国工場での製造過程での可能性が高まっている。

こうした中国製品による健康被害を訴えている人が、すでに二二〇〇人を超えており、これらの冷凍食品を使用していることが確認された学校・幼稚園は五九七校に上っているという。

現在我国の食料自給率はカロリーベースで三九%と先進国の中でも最低であり、国民の胃袋の大半は海外に依存している。

こうした状況の中で、昨年冷凍食品の主要企業による輸入は、千四百億円に及び、この中で、中国からの輸入が実に六十%近くを占めている。

しかしながら、今回の「事件」は、安価な食料というだけで、こうした食環境を続けることがいかに危険かということを示した。

我々は今一度、「食の安全・安心」のためにも、県内農畜産物をPRし、地産地消を本気で進めなければならない。

組織改革検討委員会が設置される!

第6回農政連委員会開催



県農政連は一月二十二日、熊本市内で第六回農政連委員会を開催した。最初に園田農政連委員長が「各組織において討議を行っていただきたい。ありがとうございました。今回の組織討議の結果を踏まえて、農政連の設立の原点に立ち返り、組織改革を行い、盟友の負託に応えていく組織にしていく必要がある。」と挨拶。協議内容は、昨年に行われた参議院選挙において農政連公認候補を国政に送ることができなかったことを機に実施した、組織討議の結果について議論を重ねた。

各総支部、青壮年部・女性部、中央会・連合会及び専門連の傘下組織毎に実施した討議結果が報告された。

総支部での活動に格差が見られ、盟友との関わりが希薄になっていることや、盟友に最も近い支部活動が不十分で、事務局体制が脆弱化している実態が明らかになった。また、消費者を含めた取り組みが必要など、消費者を意識した意見も出た。

このため、今後の農政連の基本方向と、組織の再編強化を図るために、「熊本県農政連組織改革検討委員会」を設置することを決定した。五月を別途として農政連委員会に諮問し、組織改革の基本方向を決定し、農政連傘下の各組織の改革に取り組む。

組織改革検討委員会のメンバーは以下の通り。

総支部代表

糸岡委員（県北菊池）、高峰委員（県

南芦北）

中央会・連合会

澤村委員（中央会）、浦田委員（果実連）

生産部会・中核農家

井手委員、木原委員

青壮年部・女性部

友枝委員、枝尾委員

職員代表

工藤委員

以上九名が選出され、満場一致で承認された。

危

機訴え、

酪農家が決起大会

飼料・原油の高騰による生産コストの上昇や乳価低迷を受けて、二月九日、九州・沖縄各県の酪農家が熊本市の白川公園に集結し、「酪農危機突破 九州・沖縄酪農民総決起大会」を開催した。

九州酪農政治連盟協議会が主催。約一八〇〇人が参加し、酪農の危機的状況の突破に向け経営の安定化、適正乳価の実現、消費者への理解促進などを決議した。

牛乳及び乳製品販売の厳しい環境の中で、酪農家は厳しい経営を余儀なくされており、毎年離農が続出している。

今回の大会には政府・与党の国会議員が多数出席。酪農家を代表して北九州市の浜崎留久さんが「このままだと酪農家は崩壊してしまふ。生活のために借金するしかない。団結して危機突破を図ろう」と訴えたあと、政府・与党に経営安定対策等を求める要請文を採択した。

大会後、熊本市の繁華街をデモ行進し、「安全・安心な日本の牛乳を守ろう」と消費者へ訴えた。



水田経営所得安定対策が

(品目横断的経営安定対策から名称変更)

見直されます



加入者の拡大に向けた面積要件の見直し (市町村特認制度の創設)

面積要件の原則や特例に該当しない方でも、「地域水田農業ビジョン」に位置付けられている地域の担い手(認定農業者又は集落営農組織)については、市町村の判断で水田経営所得安定対策に加入できるようになります。

市町村特認制度

地域水田農業ビジョンに位置付けられた認定農業者又は集落営農組織

※ 集落営農組織は、法人化計画の作成、共同販売経理等の一定の要件を満たしていることが必要です。



加入
OK

水田経営所得安定対策
(品目横断的経営安定対策)

周知からも認められ熱意を持って営農に取り組む方に加入の道がひらかれます！加入をお考えの方は九州農政局・市町村等に相談してください。

交付金支払の一本化、申請手続の簡素化

資金繰りにも配慮して、麦・大豆直接支払の交付金の支払を早めます。申請手続も徹底して簡素化します。

事務負担をぐ~んと軽くします！

交付金の早期支払

→ 交付時期の前倒しを行います。また、JAの協力により、必要な地域で交付金の立替払が実施されます。これでお金が必要な時期にまとまった支払が受けられます。

申請手続の簡素化

→ 各種申請書類について、見やすく記入しやすい様式に変えます。加入2年目以降はあらかじめ必要事項を印字したものをお渡ししますので、加筆修正だけで済みます。
→ 2年目以降変更がない添付書類は提出不要にします。

申請時期の集中化

→ 加入申請については、米・麦・大豆も含めて一定時期(4月1日から6月30日まで)に集中して行えるようにします。前年秋に申請していた秋麦も合わせて申請できるようになります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
加入申請	← 年度はじめに一本化 →											
支払時期(麦の場合)		収穫		販売代金	固定支払交付金(緑ゲタ)	成績私立特金(黄ゲタ)	協立替		成績私立交付金(黄ゲタ)	前倒し		従来の支払時期
				一括支払い								

お問い合わせ先

水田経営所得安定対策に関するお問い合わせは、九州農政局生産経営流通部担い手育成課に設置している「水田経営相談窓口」(愛称:農政安心ダイヤル)までお気軽にご連絡ください。

電話 096-353-7628, 353-7413 FAX 096-324-1439 〒860-8527 熊本市二の丸1番2号

球磨地区 総支部だより



平成十九年度国政報告会

県下には、十一農政連総支部がありこの活動状況を、毎月順次紹介しています。

今回は、「球磨地区農政連総支部」(平田國明総支部長・J A くま組合長、舩本 敦事務局長・J A くま営農経済部長)を紹介します。

球磨総支部では平成十九年十二月八日(土)にJ A くまあさぎり支所において、地元選出の国会議員金子恭之衆議院議員、松村祥史参議院議員を招いて、平成十九年度国政報告会並びに意見交換会を開催しました。

農政の現状を学ぶことと、農家の声を国政に反映させることを目的に、毎年開催しております。本年度は、品目横断的経営安定対策の新たなスタートに合わせ、意見交換会に重点を置いて開催いたしました。



管内のJ A くま役員、集落営農組合長、作物別生産部会長、青壮年部、女性部より約二〇〇名が参加いたしました。

まず、国政報告会として金子代議士より、「現在のねじれ国会の現状や、米価下落の原因と生産調整の必要性、参議院選挙における民主党マニフェストの実行困難な問題点」等を。松村参議より、「地域にとつての一次産業の重要性や都市と地方格差の要因、農商工連携の発展性や、海外への農産物輸出構想」等について、その他にも農業をめぐる国際情勢、農政に関する国の動きと最新情報について報告を受けたあと、意見交換会に移りました。

出席したJ A 役員や各代表者より質問が相次ぎ、「農業用A重油の

価格が上がっているが、即効性のある対策は」「飼料価格が上がっている。この高騰が続いて補てんの安定基金が無くなると、畜産は壊滅的打撃を受ける。国の継続支援を」など原油・飼料価格高騰への対応を求めました。また品目横断的経営安定対策では「集落営農組織を立ち上げているが、本年作付した麦の交付金額が少なく驚いた」「経営規模が小さくても対象者になるようになると、集落営農組織から抜ける農家が出てきて、組織が崩壊するのは」「他にも「農業者が国の支援を受けやすくなるように、助成要件の緩和を願う」など、予定時間を大幅にオーバーするほど活発に意見・要望が出されました。

また、米政策において品目横断的経営安定対策の拡充と経営所得確保

対策の確立、麦の助成水準の引き上げ、食料自給率向上に向けての推進、WTO・EPA交渉における公正な貿易ルールの確立を盛り込んだ要請文を両先生に渡して、国政に対する要請を行いました。



ガンバッテいます

友枝 和也さん

J Aやつしろ



織機の前で昼表と一緒に

●熊本イ草発祥の地

千丁町は、八代平野の中央部に位置し、熊本イ草栽培発祥の地で、五〇〇年の歴史があります。

友枝さんは、八代市千丁町で昭和四六年二月に生まれました。八代農業高校を卒業、就農して二十年になります。

そこで、イ草一・五ha、種じやが三十a、水稲二・三haを栽培しています。

●昼表が出来るまで

昼表が出来るまでには、多くの人の手間がかかって出来上がります。まず、八月苗床からイ草の苗を掘り取り、夜遅くまで手作業で一株、一株、イ草割をし、その後、十二月の寒いときに本田に植え付けます。

それから五月上旬頃、イ草の先端を刈り取り、根元に日光が透るようにして新芽の発生を促し、六月にかけて肥料を施します。六月中旬から七月中旬にかけて、良く充

実したイ草を機械で刈り取ります。

そのままでは変色するので、それを防ぐために泥染めを行い、乾燥し、黒い保管袋に入れて保存します。

そして織機を使って、イ草を昼表に織り上げます。

以前は、すべて手作業で十二月の厳寒の田植え、猛暑の中での刈入れと厳しい自然と闘いながらの、大変な作業でした。

●イ草栽培の継承

「最近では、重油、軽油等の値上がりで乾燥機の燃料代、イ草専用の田植え機、織機の買換えをはじめ生産コストの増加が心配です。このコスト増を生産者価格に、すぐには反映できず、厳しい経営状況に追い込まれています。今後、系統と連携し経費節減に努め、生産者価格の引上げ運動に取り組みながら、イ草栽培の発祥の地としての誇りを守っていききたい。」と話されました。

●県青壮年部副委員長として

J Aやつしろ青壮年部の部長を三年務め、現在、県青壮年部の副委員長として、日々積極的に活動されています。

「昨年から、品目横断的経営安定対策、米の自給調整、さらには、WTO、EPA農業交渉等の勉強会を通じ、対策に取り組んでいます。その他、四月、十月の千丁イ草の里祭りなどを実施し、食と農の大切さを消費者や子供たちに訴え、盟友とともに熊本の農業を支える活動を深めていきたい」と、意気込みを語っていただきました。

龍 みつ子さん

J Aたまなフレッシュミズ部会 会長



フレッシュミズ活動をしている荒尾支所にて

その大きさ、形、おいしさで梨の王様と呼ばれる新高梨。熊本県荒尾市は、新高梨『荒尾梨』の産地です。この地で、龍さんは荒尾梨(二ha)を栽培しています。

●理容師の世界から農業へ

龍さんは、福岡県八女市の出身で高校卒業後、住込みで理容師の仕事を始めました。福岡県で5年間、長崎県で5年間働き、理容師として、十年のキャリアを持っています。

旦那さんとは、親戚の紹介で知り合い結婚。理容師の世界から農業の道へ進みました。

●外の仕事に興味津々

「理容師の仕事を辞めることに、後悔はありませんでした。手に職があることは無駄にはならないし、そのころは、外の仕事に興味があったのでとても楽しみでした。」と、就農当初のことを話す龍さん。

今では、五人の子供に恵まれ、両親と龍さん夫婦の四人で、毎日、梨栽培に取り組んでいます。

●きっかけは女性部

龍さんが活動するJ Aたまな荒尾地区のフレッシュミズは、会員十二名で年に六回の活動をしています。

活動内容は、料理教室やツールペインティングなど。去年は、夏に家族参加のバーベキュー会をしました。

龍さんが入るきっかけになったのは、女性部の方からの誘いでした。今では、新しい活動を紹介してもらおうなど、女性部との接点を持った活動をしています。

●「一人一役」

龍さん達は、一年間の活動ごとに企画担当を決めて「一人一役」の活動形態をとっています。一つの活動につき、二人組みで活動準備をするなど、部長がすべてを背負うのではなく、みんなで楽しく作っていく活動を心がけています。

「みんなが負担にならない活動」、これを龍さん達の活動の基本にしています。

●期待と抱負

「フレッシュミズの活動が、みんなの息抜きの場になればいいですね。子供の年齢が近いので、子育てがひと段落したら、旅行やスポーツなど新しい活動を取り入れていきたいです。」とこれからのフレッシュミズへの期待と抱負を話されました。



J A 中央会

J A あしきたの斉藤さんが 最優秀賞

第五十五回熊本県家の光大会
J A 熊本中央会と(社)家の光協会は一月十一日、第五十五回熊本県家の光大会を開き、家の光記事活用体験発表では、「古きをたずねて新しき」と題して発表したJ A あしきたの斉藤ノブ子さんが最優秀賞に輝きました。

J A 女性部・愛読者ら七〇〇人が参加。園田俊宏J A 中央会会長は「地域社会の発展には家の光を通じた教育文化活動が今後とも大きな役割を果たす」とあいさつ。

表彰では中央会表彰として「家の光十二月号優績J A」で、J A たまな・J A 熊本うき・J A やつしろ・J A あまぐさ、「特別表彰」として二十二年間地元の小学校に毎月『ちやぐりん』を六冊寄贈している菊池市泗水町の秋吉達也さんを表彰しました。

家の光協会表彰「普及功労者表彰(組合長)」では、『地上』J A 阿蘇・J A 熊本うき、『ちやぐりん』J A あしきた・J A あまくさ、「家の光図書」J A 菊池。また優良読書グループにはJ A 熊本市「あぐり会」を表彰しました。



最優秀賞を受賞した
J A あしきたの斉藤ノブ子さん

ごはんお米とわたし 作文・図画コンクール表彰式

J A 熊本中央会は一月十二日、第三十二回「ごはんお米とわたし」作文・図画コンクール



熊本県賞を受賞した
岩田莉歩さん(左)と森春渚さん(右)

の表彰式を熊本市で開き、最高賞に当たる熊本県賞には、作文の部で岩田莉歩さん(御船町立御船小学校五年)と図画の部で森春渚さん(苓北町立富岡小学校四年)が選ばれました。

今年度は、県内の小・中学校から作文の部に一九二校から二〇八一点、図画の部に二二五校から二五九四点の応募がありました。

式には入賞者と保護者、学校関係者ら一二〇人が参加。澤村成昭中央会副会長が挨拶したあと、審査講師では熊本県小学校国語教育研究会長の藤川博昭氏が「米のおいしさがうまく再現されており、よく伝わってきました。」また、熊本県図画工作・美術教育研究会長の石井祐治氏が「一番大切なことは、一生懸命描くこと。感動したこと、感じたことを絵の中に表現できていた」と激励しました。

J A 経済連

J A 植木まつり開幕

くまもとの春の訪れを告げる緑の祭典「J A 植木まつり」が一月二十六日、合志市の熊本県農業公園カントリーパークで始まりまし。

J A 熊本経済連、県内J A の主催で昭和五十一年に始まり今年で三十三回目。会場には、県内の十一J A からマキ・梅・松などの庭木をはじめ、洋ラン・パンジー・シクラメン・ハーブ・盆栽などの花鉢苗物、趣向を凝らした庭園、地域自慢の特産品など約二〇万点が出品、展示即売される。また、スタンプリリーやオークションなど、楽しいイベントも予定されています。

初日に行われた開会式には、県、J A グループ代表など約五十名が出席。主催者を代表して同経済連の松村秀一会長が「多くの人々に『自然の息吹』『自然との共生』を体感して頂き、樹木や花々の大切さ、ありがたさというものを感じ取って頂きたい」とあいさつ。関係者がテープカットし、開幕を祝った。

開催期間は二月二十五日(月)まで。入場無料。開催時間は午前九時から午後五時までで期間中は無休。J A 植木まつり事務局(電)〇九六三三四八二八〇一。



一足早い春の訪れにファンで賑わう植木まつり。

おいしいお茶と和菓子を 楽しむ会



実際に茶を淹れる消費者

熊本県経済連茶生産流通協議会は、一月十九日、経済連七階ホールにて、茶に関する講演会と、おいしいお茶と和菓子を楽しむ会を開催しました。茶のおいし

さや優れた効能を普及するとともに、消費拡大を図るのが目的。熊本県茶商業協同組合、日本茶インストラクター協会熊本支部が共催し、一般消費者約九十名が参加。日本茶インストラクターが緑茶の種類や製法について説明。熊本県産の茶の紹介や淹れ方の手解きをし、参加者は急須を使って実際に茶を淹れました。また、熊本を代表する菓子職人の町、川尻の「開懐世利(かわせり)六菓匠」代表の方の講和菓子製作実演を楽しみながら、おいしい和菓子と日本茶に親しみました。参加者にはお土産として茶一〇〇gの配布があり、今日学んだ淹れ方で日本茶を家庭で愉しんでいただきます。参加した消費者からは、とてもおいしく、勉強になったなどの声が聞かれました。ドリンク茶の普及が進むにつれ、緑茶本来の急須で淹れて茶を飲むという習慣が敬遠されているが、この会をきっかけとして、茶に親しんでもらいたいと主催者は話していました。

第5回
窓口ロールプレイング大会

（窓口対応コンクール）

本大会は、テラー（窓口担当者）が、お客様の情報を収集しながら、お客様に合った商品をいかにわかりやすく説明できたかというセールス・対応技法を競うものです。

本大会の出場者は、県内十一の地区大会で優勝された方々であり、堂々とした素晴らしい演技は観客である窓口担当者の目を引くとともに、今後の窓口対応の模範となりました。

審査は、本年度窓口研修会の田中講師、出場J Aの組合長、信連役員、農林中金支店長により厳正に行なわれ、最優秀賞にJ A阿蘇、優秀賞にJ A鹿本・J Aあしきたの方々が選

●出場者の皆様（出場順）

J A名	出場者(テラー役・上司役)
あまくさ	松本たまき・山崎 実夫
くま	甲斐明日香・藤本 健二
熊本市	酒井 珠美・谷畑 英明
鹿本	西岡 涼子・早川 秀隆
かみましき	大川 健護・冨永 光敬
菊池	平田 真央・安武 浩一
あしきた	吉海 早紀・山村 裕一
やつしろ	森内 明・早川 智浩
熊本うき	清川 碧美・中村 親
阿蘇	吉野 美鈴・宮崎 哲也
たまな	中村 秀美・上田 龍介

●模擬演技

阿蘇 小堀文・安藤和枝・藤本親幸



最優秀賞 J A阿蘇 小国郷中央支所
テラー役 吉野美鈴さん

ばれました。
また、本年度の窓口向上に向けたJ Aでの具体的取組をJ Aくまの窓口リーダー西浩美さんが発表されました。
なお、受賞されたチームのテラー役の皆様は、東京で開催される（株）きんざい主催の窓口対応・セールスロールプレイング全国大会を視察することになっております。

初春をJ A共済が
駆け抜ける！

（第二十五回熊日郡市対抗女子駅伝に協賛）

J A共済が協賛している「第二十五回熊日郡市対抗女子駅伝」が一月二十七日（日）、熊本市上通町のびるす熊日会館前を発着点に、上益



熊本市通町をスタートする選手たち

城郡益城町下小谷を折り返す七区間三十kmのコースに十八チームが出場して行われ、熊本市チームが七年ぶりに大会記録を五十六秒短縮する一時間三十八分十秒で、二年連続七度目の優勝を果たしました。二位には一時間四十分四秒で菊池郡市チーム、玉名市チームが一時間四十二分三十六秒で三位に入りました。



熊本市チームが大会新記録で優勝

最優秀選手には、十七年前に松野明美選手（鹿本郡市）が作った区間記録を更新する快走を見せた、熊本市チームのアンカー江藤佑香子選手が選ばれました。優秀選手は、三位でたすきを受け三区で首位に躍り出た菊池郡市の田添綾香選手。躍進賞は、昨年十三位から七位に順位を上げた上益城郡市チームが受賞しました。
本大会は、熊本県内の女子長距離選手の育成と底辺の拡大を目的に、昭和五十八年から毎年開催され、今年で二十五回目を迎える伝統ある大会となっております。これまでも松野明美選手や川上優子選手ら数多くの全国レベルのランナーを輩出し、沿道の熱心な応援風景とともに熊本の初春を飾る風物詩として欠かせないものになっています。
J A共済は、これからも地域に密着した活動を展開し、組合員・利用者へのNo.1の安心と満足の提供を目指していきます。

- 農政連リーダー研修会
- 農政連総支部だより：天草総支部
- ガンバッテます：2名
- 中央会・連合会からのお知らせ

あとがき

● 立春の前日(二月三日)を節分と呼び、冬の間にとまった心の陰の気を払って明日からの立春に備え、陽の気を一杯取り入れられる心の準備を。昔からの風習が今でも残り、お寺では、豆まきやご祈祷がおこなわれます。伝統行事の節分は自分を見直し再出発の日と考えたら意味深い。また、その年の恵方の方角(歳徳神)という神様が在る方向)を向いて、だまって太巻き寿司をかぶりつくというのは、のり業界の商売からとわかっていても楽しいですね。ちなみに今年、南南東です。家族と触れ合う楽しい伝統行事です。その他にも節句、お盆、七夕、七五三...と伝統行事があります。意味を噛み締めながら節目々々に行なってみてはいかがでしょうかでしょう。

● 盟友の皆様のご意見や 周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部(JA本・支所)へお寄せいただければ幸いです。

連絡先 熊本県農政連
電話 096-328-11284
FAX 096-326-5807

JAバンク熊本
自慢の愛車で週末ドライブ。JAのローンで買い替えました。

JAマイカーローン
お車の購入、買い替え、車検の費用などにもご利用いただけます。

体験 発見
JAグループ熊本のテレビ番組

アグリウォッチング

食・営農・組織活動等の情報がいっぱい

RKK放送 毎週日曜日 午前10時30分～10時45分

3月放送予定

3月	2日	玉名の冬春トマト「麗容(れいよう)」(玉名)
	9日	地産地消のヘルシー弁当(菊池)
	16日	花いっぱいJA菊池花卉部会(菊池)
	23日	平成20年度 春夏瓜類・春野菜生産出荷大会(県下)
	30日	天草地区で今年の米作りが開始(天草市)

JA熊本中央会

JA共済

あなたのカーライフに、幅広い保障と充実のサポートを。

充実の自動車保障

自動車共済のお見積りサービス実施中!
<http://e-service.ja-kyosai.or.jp/>

●詳しくは、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。
■ホームページアドレス<http://www.ja-kyosai.or.jp>

家庭用自動車共済
あんしんDX
スーパー

サンキューキャンペーン実施中! <http://www.3aja.jp>
07481050086

熊本の元気な農業を応援したい

21 熊本県中古農業機械大展示会

出展台数 300台

見て、乗って、こ体感ください!

大会本部

たくさんの中古農業機械が一堂に勢揃い!

●と き: 3月6日(土)・3月7日(日) 9時～17時
●と ころ: 熊本県農業公園となり 西尾原
●主 催: 熊本県農業機械流通協同組合(TEL:096-222-2222)
●共 催: 県下JA・JA熊本経済連
●後 援: 熊本県